

十九の春

本調子

わたしが

合合乙老四合王四工四合四合四

あなたにほれたのは

四上中上四合四工五工合工五工

ちようどじゆうくの

合四合四四上中工合中上四上四

いまさ

合四上四工五合五五七五工合

ゆうな

中上四乙合○合乙老四合中合中合

じゆうくにしておくれ

上中工合○工○中○上四上四合王四工四

一、わたしがあなたにに惚れたのは

ちようど十九の春でした

いまさら離縁と言うならば

もとの十九にしておくれ

二、もとの十九にするならば

庭の枯れ木を見てごらん

枯れ木に花が咲いたなら

十九にするのもやすけれど

三、見捨て心があるならば

早くお知らせくださいね

年も若くあるうちに

思い残すな明日の花

四、一銭二銭の葉書さえ

千里万里と旅をする

同じコザ市に住みながら

会えぬ我が身のせつなさよ

五、主さん主さんと呼んだとて

主さんにや立派な方がある

いくら主さんと呼んだとて

一生忘れぬ片思い

六、奥山住まいのウグイスは

梅の小枝で昼寝して

春が来るよな夢を見て

ホケキヨホケキヨと鳴いていた